

～8月に園内で発生した感染症～

・りんご病 流行中 ⚠

流行が続いています。他の感染症より潜伏期間が長い為、しばらく感染に注意しましょう。頬や腕・下肢に発赤疹が出ます。紅斑が出ている時期は感染力は低いので、全身状態が良ければ登園可能ですが、園内の感染症数把握のために診断が必要となるため、受診をお願いしています。

・RS ウイルス感染症 流行中 ⚠

呼吸器の感染症です。大人や以上児が感染しても、風邪程度で済みますが、小さな子は重症化することがあります。咳の症状がある時は、受診をお願いします。

・アデノウイルス(咽頭結膜熱)

感染力が高く、高熱が続き、扁桃腺炎、結膜炎の症状が出ます。解熱・充血等の症状が消失した後、2日間は出席停止です。

・夏風邪(熱が長く続き、咳の症状がひどい風邪のようです)

・おう吐、下痢

・とびひ

患部をガーゼで覆ってあれば登園できます。範囲が広い場合や、ガーゼで覆うことが難しい場所の時は、登園を控えて下さい。

病院によっては、ガーゼで覆う必要がなく移らないと言われることがあるようですが、園としては、厚生労働省の感染症対策ガイドラインに沿って上記の対応をしていますので、伝染性膿痂疹(とびひ)と診断された方は、園の方針にご協力をお願いします。

～お願い～

プールや水遊びが終了しても、まだまだ暑い日が続きます。9月は園庭遊びでも、水を使った遊びをする日が多いかと思えます。水遊びを控える等の配慮が必要になるので、咳などで気管支拡張剤(ツロブテロール・ホクナリン)のテープを貼っているお子さんは、必ず登園時に職員にお知らせください。